

## マダラシマゲンゴロウ

*Hydaticus thermonectoides*

兵庫県：絶滅

環境省：絶滅危惧 I 類 (CR+EN)

### 種の概要

体長9～10mm。体型は卵形、背面はやや強く盛り上がり光沢がある。頭部は全面淡黄褐色で微細な点刻がある。前胸背は後縁がやや暗色であるが、ほぼ全面に淡黄褐色で、前縁部と後縁の一部にやや浅い点刻列がある。上翅は淡黄褐色で小黑点を散布するが、上翅両側・基部・上翅中央後方・翅端付近には黒点が希薄で紋様状を呈する。背面は細かい網状印刻に被われ、各3条の細かい点刻列があるが、外側の1列はやや不明瞭である。水のきれいな水田や放棄水田、ジュンサイの生えるような貧栄養な池などに生息する。



写真提供：森正人

### 国内分布

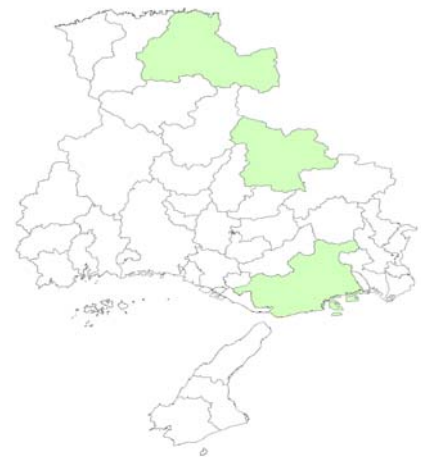
本州、九州

### 県内分布記録

神戸市、豊岡市、丹波市

### 選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
		○	○		○



### 特記事項

県内では、最も新しい神戸市の情報(1955年)以降、記録や情報が全くない。今後、調査が進めば新たな生息地が発見される可能性はあると考えられる。本州の特産種とされていたが、最近になって九州産の古い標本が確認された。

### 保護上の留意点